

平成19年度 農地・水・環境保全向上対策の成果

地区名 共同活動の成果・参加者の声	共同活動実施状況
<p>上原地区(鳥取県 鳥取市)</p> <p>水路の補修を地域住民自らが行うことにより、施設の延命化と共同活動に関する理解と協力体制が整いつつある。</p> <p>老人会、女性会、農業者が共同で、農道沿いにアジサイを1,000本植栽することにより、地域住民の環境への関心が更に高まった。花が咲くのを楽しみにしている。</p>	 <p>アジサイの植栽</p>
<p>隼郡家地区(鳥取県 八頭町)</p> <p>従来から取り組んでいた共同活動が多く、地域住民の理解が得やすかった。活動内容を充実、発展させていきたい。</p> <p>住民一体となって、コスモス・菜の花の種まきやゴミ拾い活動を行うことにより、地域全体が活気づいてきた。</p>	 <p>コスモスの花が咲きました</p>
<p>南谷地区(鳥取県 倉吉市)</p> <p>水系つながりの5集落で取り組んでいるが、景観植物の植栽やホタル鑑賞会を実施することにより、非農家集落とも交流が図れ、地域全体の一体感が生まれてきた。</p> <p>これを機に共同活動を地域全体に定着させていきたい。</p>	 <p>プランターへの植栽</p>
<p>下安曇地区(鳥取県 米子市)</p> <p>景観植物の植栽や美化活動といった新たな活動に取り組んだことにより、話し合いの場もでき、地域が活気づいてきた。</p> <p>高齢化に備えて、農地や農業用施設を守る体制について話し合うきっかけとなった。集落の機能を守っていく体制を整えていきたい。</p>	 <p>地域住民による美化活動</p>
<p>茶屋地区(鳥取県 日南町)</p> <p>水路の補修に積極的に取り組むようになり、農業用水路の機能を維持することが出来るようになった。また、補修に関する技術の向上も図られてきた。</p> <p>従来の事業と比べて、多様な活動に自ら気軽に取り組めるため、地域住民が活気づいてきた。</p>	 <p>自主施工による水路の補修</p>